

平成24年度大阪880万人訓練

訓練結果（資料集）

Results of Osaka 8.8million drill ' 12 (references)

（公開用資料）

平成24年11月

大阪880万人訓練実行委員会事務局

Version 1.00

防災訓練のお知らせ

大阪880万人訓練

Osaka 8.8million drill

9月5日(水) 11時

訓練一斉実施



まずは身を守る

携帯電話の
訓練緊急地震速報が
一斉に鳴ります！

※マナーモードでも鳴動します。

訓練開始の情報を受けたら、あらかじめ各自で考えておいた訓練行動等を無理のない範囲でチャレンジしてください。

訓練終了後、おおさか減災プロジェクトのサイト上でアンケートを実施しますので、ぜひご協力ください。

訓練当日に、訓練緊急速報メールなどで一斉に地震発生情報を受けた時、いかに自分の身の安全を守るかや、その後、どう行動するかなどを考えておいてください。

訓練を始めるまでに、どのように避難するかや、非常持ち出し品・転倒防止策等の点検などの日常の備えについて、家族など身近な人々と考えるきっかけにしてください。

災害はいつ、どこで、どのように来るか予想できません。日頃からさまざまな場面を想像して準備しておくことが、いざ!というときに役立つのです。

この訓練の狙いは、災害が起こったときに、一人一人がどのように行動したら良いのかを日頃から考え、必要な準備をした上で、とっさに行動ができるようになることです。



《訓練例》

無理のない範囲で、誰もが参加できるような簡単なことを実行してみてください。

■共通：身を低くする・机の下などに潜り込む・火を消す・安全な経路で避難する・いざという時の行動を申し合わせる・災害に備えて何が必要かを考えておく

■各家庭：家族の状態を確認する

■事務所：従業員の状態を確認する

■工場：工場設備を安全に停止させる・作業員の状態を確認する

《エリアメール(NTT-docomo)／緊急速報メール(au, Softbank)について》

訓練当日の午前11時に大阪府内にある携帯電話に訓練開始の合図として発信する「訓練緊急地震速報」は、携帯電話会社のエリアメール／緊急速報メールサービスの「災害・避難情報」を利用します。大阪府内にある携帯電話が880万台だとすると、約350万台が一斉に鳴ると推定しています。「災害・避難情報」とは、携帯電話会社が提供している防災情報の無料配信サービスで、携帯電話会社によって異なる場合があります。各携帯電話会社と大阪府との間で「災害・避難情報」配信サービスの契約をしておき、災害や避難の情報を大阪府から大阪府内にあるエリアメール／緊急速報メール対応の携帯電話端末に直接配信するものです。〔災害・避難情報〕を受信するときの通話料は無料です。対応機種や設定方法については各携帯電話会社ホームページでご確認ください。

大阪府域を対象に「災害・避難情報」を配信しますが、他府県との境界付近にある端末は、大阪府外でも鳴動することがあります。「災害・避難情報」を受信した端末は、通話中の電源オフでない限り、マナーモードにしている場合でも強制的に鳴動します。

※訓練当日、投票や会議、式典の場や、映画館、図書館など、携帯電話が鳴ってはいけない場合はあらかじめ電源を切っておいてください。

ご不明な点などがございましたら、
「大阪 880 万人訓練実行委員会事務局」まで
お問い合わせください。 [大阪 880 万人訓練](http://www.pref.osaka.jp/shobobosai/trainig_top/h24_880.html)

http://www.pref.osaka.jp/shobobosai/trainig_top/h24_880.html

【大阪 880 万人訓練実行委員会事務局 電話番号】

■大阪府 事務局 危機管理室災害対策グループ 06-6941-0351 (内線 4886)
■大阪市 事務局 危機管理室危機管理課 06-6208-7387
■堺市 事務局 危機管理室 072-228-7605

知事記者会見バックボード



各事務局でのバックボード活用状況



初代ロゴ

大阪880万人訓練

Osaka 8.8million drill



二代目ロゴ

大阪
880  **人**
訓練

Osaka 8.8million drill

大阪880  **人訓練**

Osaka 8.8million drill

大阪880万訓練

Osaka 8.8million drill

平成24年9月5日(水曜日)午前11時 一斉実施

ねらい

この訓練の狙いは、災害が起こったときに、一人一人がどのように行動したら良いのかを日頃から考え、必要な準備をした上で、とっさに行動ができるようにすることです。

災害はいつ、どこで、どのように来るか予想できません。日頃からさまざまな場面を想像して準備しておくことが、いざ！というときに役立つのです。

概要

訓練を始めるまでに、どのように避難するかや、非常持ち出し品・転倒防止策等の点検などの日常の備えについて、家族など身近な人々と考えるきっかけにしてください。

平成24年9月5日（水曜日）午前11時に、訓練緊急速報メールなどで一斉に地震発生情報を受け、自分の身の安全を守ることや、その後、どう行動するかなどを考える。

訓練開始の情報を受け、あらかじめ各自で考えておいた訓練行動等を無理ない範囲でチャレンジしてください。
訓練終了後、おおさか減災プロジェクトのサイト上でアンケートを実施しますので、ぜひご協力ください。

例（無理のない範囲で、誰もが参加できるような簡単なことを実行してみてください）

- ・身を低くする ・机の下などに潜り込む ・火を消す ・安全な経路で避難する
- ・いざという時の行動を申し合わせる ・災害に備えて何が必要かを考えておく
- 各家庭では・・・家族の状態を確認する ●事務所では・・・従業員の状態を確認する
- 工場では・・・工場設備を安全に停止させる ・作業員の状態を確認する

エリアメール（NTT-docomo）／緊急速報メール（au, Softbank）について

訓練当日の午前11時に大阪府内にある携帯電話に訓練開始の合図として発信する「訓練緊急地震速報」は、携帯電話会社のエリアメール／緊急速報メールサービスの『災害・避難情報』を利用します。大阪府内にある携帯電話が880万台だとすると、約350万台が一斉に鳴ると推定しています。

『災害・避難情報』とは、携帯電話会社が提供している防災情報の無料の配信サービスで、携帯電話会社によって名称が異なります。各携帯電話会社と大阪府との間で『災害・避難情報』配信サービスの契約をしており、災害や避難の情報を大阪府から大阪府内にあるエリアメール／緊急速報メール対応の携帯電話端末に直接配信するものです。機種によって設定をしていただく必要がありますので、対応機種については各携帯電話会社ホームページでご確認ください。

『災害・避難情報』を受信した端末は、通話中か電源オフでない限り、マナーモードにしている場合でも強制的に鳴動します。授業中や会議中、式典中、映画館、図書館など、携帯電話が鳴ってはいけない場合はあらかじめ電源を切っておいてください。

『災害・避難情報』を受信するときの通話料は無料です。大阪府域を対象に『災害・避難情報』を配信しますが、他府県との境界付近にある端末は、大阪府外でも鳴動することがあります。

大阪880万人訓練実行委員会

大阪府事務局 危機管理室災害対策グループ 06-6941-0351（内線 4886）

大阪府事務局 危機管理室危機管理課 06-6208-7387

堺市事務局 危機管理室 072-228-7605

大阪880万人訓練HP http://www.pref.osaka.jp/shobobosai/trainig_top/h24_880.html

考えておくことの例

参加種別／内容	緊急地震速報 地震発生	揺れがおさまったら 建物の安全確認ができたなら
ご家庭内 事務所内	家具等から離れる 火を消す(離れている場合は無理して消火しない) 頭、体の保護し机の下に隠れる	あわてず状況確認 外に飛び出さない
事業所 (防災センター)	姿勢を低くし、頭、体を保護 管内への周知	状況確認 在館者を外に出さない 自衛消防隊等の訓練
まちなか 人が大勢いる施設 (屋外含む)	ブロック塀・看板・ガラス自動販売機等から離れる 係員の指示に従い、あわてて出口に走り出さない 姿勢を低くし、頭、体を保護	あわてず状況確認 外に飛び出さない
自動車運転中	急にスピードを落とさない (急ブレーキ禁止) ハザードランプ点灯 道路状況を確認して左側に停止	※当日は交通法規を 守り、実際にはやら ないでください あわてず状況確認 車外に飛び出さない
鉄道・バス	つり革、手すりにしっかりつかまる 姿勢を低くする	係員の指示に従う

さらに・・・

在館者等の誘導
家族、従業員の安否確認の実施
備蓄物資の確認
家族・社内防災会議の開催
帰宅ルート・最寄りの避難所の確認

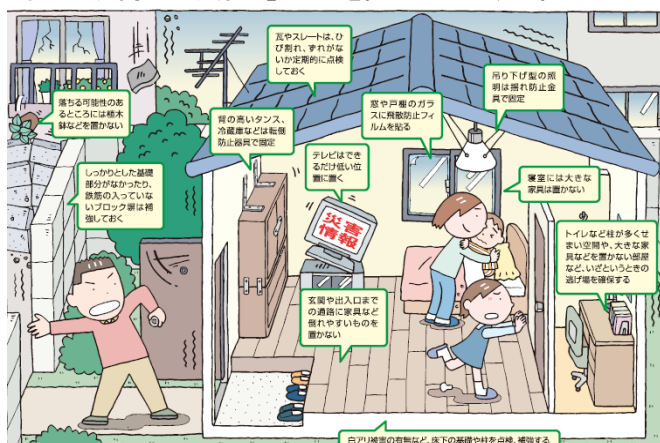



敵を見つけよう！！

地震の揺れで「動く、倒れる、落ちる、割れる、飛ぶ」ものを見つけ退治する。

【当日までの事前の確認事項】

- ☐ 建物の耐震性は？
- ☐ 地域の震度想定・地盤の状況は？
- ☐ 家具やロッカーの転倒防止措置は？
- ☐ 備品や備蓄物資の確認は？
- ☐ 身を守る確認は？
- ☐ あわてて帰宅しない確認
- ☐ 帰宅ルートの確認は？
- ☐ 最寄りの避難所の確認は？
- ☐ 家族や社内の防災会議の開催は？
- ☐ 災害用伝言ダイヤルの使用方法の確認は？



大阪880万訓練

Osaka 8.8million drill

September 5, 2012 (Wednesday) 11AM Prefecture-wide Drill

Objective

The objective of this drill is to ensure that each person thinks about the best way to respond to disaster from normal times and becomes well-prepared to respond to sudden disasters. We don't know when and where disasters will occur. Simulating various scenarios and being prepared from normal times help respond to spontaneous situations.

Overview

Prior to the drill, make an opportunity to review how to evacuate, checking up on what items to take in emergencies, securing furniture, and other things you can do in daily life.

At 11AM on Wednesday September 5th, 2012, you will receive email for the emergency drill and are asked to think about how to respond and protect yourself.

Try to evaluate the plan you had formulated after receiving the disaster drill information.

After the drill is finished, a survey will be posted on the Osaka Disaster Project website, so please participate.

Example: (Please try some simple things that anybody can participate in without over-exerting yourself.)

- staying low • hiding under the table • simulating fire extinguishing • evacuating on a safe route
- confirming emergency response details with family/colleagues • thinking what items are needed in disaster
- In each home • • • confirm the safety of family members ●In the office • • • confirming employee safety
- In the factory • • • safely shutting down factory equipment • confirming worker safety

About "Area Mail" (NTT-docomo) / "Emergency Alert Mail" (au, Softbank)

The "Mock Earthquake Emergency Alert" that mobile phones within Osaka Prefecture will receive at 11AM on the day of the drill will signal the start of the Drill, making use of the area mail service of mobile phone carriers or the "Disaster/Evacuation Information" emergency alert mail service. This means that if the total number of mobile phones in Osaka Prefecture is roughly 8.8 million, about 3.5 million mobile phones will simultaneously ring.

The "Disaster/Evacuation Information" is a service provided by mobile phone carriers free of charge, and its name differs by carrier. Each carrier and Osaka Prefecture has a contract for dispatching "Disaster/Evacuation Information" and information about disasters and evacuation from the Prefecture would be sent directly to mobile phones that are compatible with area mail or emergency alert mail.

Some phones will need to be configured, so please check the details on each mobile phone company's homepage.

Phones that received "Disaster/Evacuation Information" will be prompted to ring or vibrate even in manner mode, as long as it is not turned off or on a call. If you are going to be in class, meeting, event, movie theatre, library, or anywhere that phones are prohibited from ringing, please turn off the phone beforehand.

Receiving the "Disaster/Evacuation Information" is free of charge. The "Disaster/Evacuation Information" will be sent within Osaka Prefecture, but phones located in bordering areas within neighboring Prefectures may also ring.

Osaka 8.8 million drill Steering Committee

Osaka Prefecture Administrative Office : Disaster Management Measures Team, Crisis Management Office 06-6941-0351 (ext.4886)

Osaka City Administrative Office : Emergency Management Section, Office of Emergency Management 06-6208-7387

Sakai City Administrative Office : Crisis Management Office, 072-228-7605

Official Website http://www.pref.osaka.jp/shobobosai/trainig_top/h24_880.html

Examples for Responding to Earthquakes

Location/Actions	Emergency Earthquake Warning Earthquake Occurring	When the Shaking Stops When the Safety of the Building is Confirmed
In the Home At Work	- Step away from furniture - Shut off the stove (if standing away, do not put yourself at risk to shut it off) - Protect your head and body under a table	- Stay calm and check the situation - Do not rush outside
Office (Disaster Response Team)	- Keep low and protect your head and body - Announce the warning to all in the premises	- Check the situation - Do not allow people to leave the building - In-house firefighter drill & standby
In Town Crowded Facilities (Including Outdoors)	- Stand away from unstable structures like block walls, signboards, glass, and vending machines - Comply with the directions of on-site personnel and avoid rushing to the exit - Keep low and protect your head and body	- Do not panic and check the situation - Do not rush outside
While Driving	- Do not suddenly slow down (No sudden breaks) - Turn on hazard lights - Check the situation and stop on the left curb *Abide by traffic restrictions during disasters.	- Do not panic and check the situation - Don't jump out of the car
Train • Bus	- Hold on to supports bars and straps - Keep low	- Comply with the directions of on-site personnel

Also...

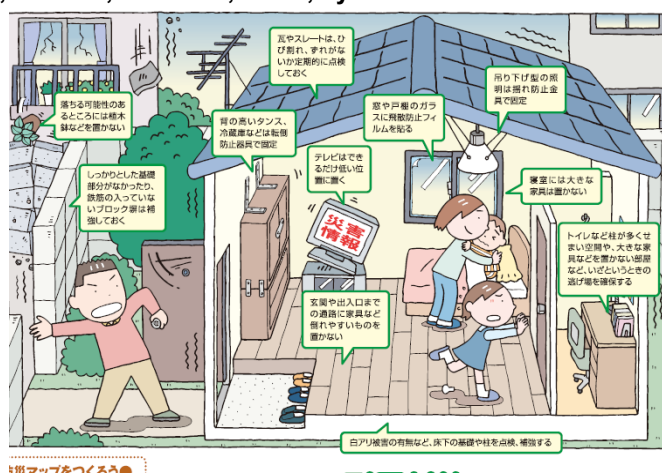
- Guiding people in the building
- Confirming the safety of family and employees
- Checking emergency supplies
- Organizing a family/office disaster prevention meeting
- Confirming alternate routes to get home and local evacuation centers

Identify the Risks!!

Identify objects that “move, fall over, fall down, break, fly” and eliminate it.

【Checklist before disasters】

- ☐ **Building earthquake resistance**
- ☐ **Local magnitude forecast, geology**
- ☐ **Securing furniture**
- ☐ **Emergency supply stock**
- ☐ **Self-protection methods**
- ☐ **Avoiding risky commute home**
- ☐ **Alternate routes to go home**
- ☐ **Local evacuation centers**
- ☐ **Family/Office disaster prevention meeting**
- ☐ **Learning to use the emergency messaging system (dial 171)**



リーフレット（中国語版・表）公益財団法人大阪府国際交流財団（OFIX）提供

大阪880万人訓練

Osaka 8.8million drill

大阪880万人防災訓練

2012年9月5日(周三)上午11点 大阪府内同时实施

目的

此训练的目的在于：一旦发生灾害时，我们每一个人该如何做出正确行动，这在平时就应该考虑周到并做好必要的准备。关键时才能迅速行动。

我们无法预测灾害会发生在何时，何地，会以何种方式降临。如果平时就设想出各种可能会发生的场面，并做好必要的准备，一旦灾害发生时，就可以从容应对。

概要

训练开始前，请借此机会，和家人朋友一起考虑，怎样进行避难，检点避难用应急物品・防止家具倾倒措施等的日常准备。

2012年9月5日（周三）上午11点，大家将通过训练用紧急速报电子邮件等方式，同时收到地震发生信息。请想好如何保护自身安全，以后应如何行动。

收到训练开始的信息后，请各自按照事先考虑好的训练行动，在力所能及的范围内进行尝试性避难。

训练结束后，在大阪减灾工程的网页上实施相关问卷调查，请给予协作。

例如：（请在力所能及的范围内，演练一下大家都能做到的简单行动）

- ・降低身体姿势
- ・躲到桌子下面
- ・关灭火源
- ・经安全路径避难
- ・一旦发生紧急情况时该如何行动
- ・商讨好防灾避难时需要些什么

●在各家庭……确认家人的安全状况

●在公司……确认职员的安全状况

●在工厂……安全停止工厂的设备・确认工人的安全状况

关于区域电子邮件（NTT-docomo）/ 紧急速报电子邮件（au, Softbank）

在训练当天的上午11点，作为训练开始的信号，将利用手机电信公司的区域电子邮件/紧急速报电子邮件，对大阪府内的手机用户发送“训练紧急地震速报”。推算大阪府内有880万台手机的话，约有350万台手机同时鸣响。【灾害・避难情报】是手机电信公司提供的免费防灾信息发送服务，不同手机电信公司的称呼也不同。各手机电信公司与大阪府之间签有发送“灾害・避难情报”的服务合同，灾害避难信息由大阪府直接发送到大阪府内的区域电子邮件/紧急速报电子邮件对应的手机终端。手机机型不同有时需要进行设定，是否是对应机型请上各手机电信公司的网站进行确认。接收【灾害・避难情报】的手机终端，只要不是通话中或者电源关闭状态，即使是静音振动设定，也会强制鸣动。因此，训练当天在上课、会议、典礼、电影院、图书馆等手机不宜鸣响之处，请事先关闭手机电源。接收【灾害・避难情报】的通信费是免费的。虽然该训练信息以大阪府区域内为发送对象，但临近大阪府的其他府县的手机终端，即使是在大阪府外也有可能鸣动。

大阪880万人训练实行委员会

大阪府事务局 危机管理室灾害小组 06-6941-0351（分机4886）

大阪府事务局 危机管理室危机管理课 06-6208-7387

堺市事务局 危机管理室 072-228-7605

大阪880万人训练HP http://www.pref.osaka.jp/shobobosai/trainig_top/h24_880.html

需事先考虑好的例子

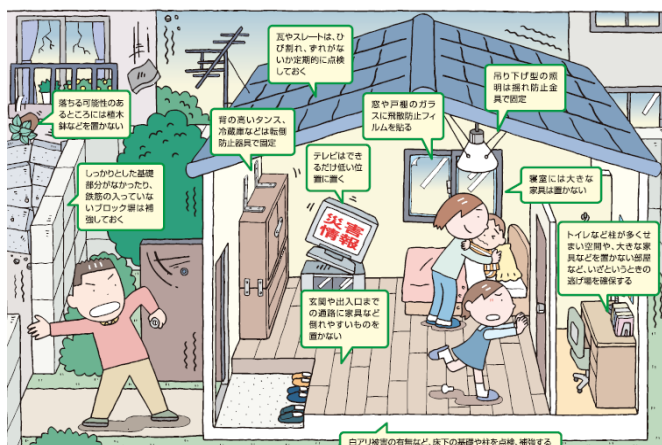
参加类别/内容	紧急地震速报 发生地震	一旦摇晃减弱时 确认建筑物安全以后
在家中 办事处内	离开家具等， 关灭火源（距火源较远时，不要硬去关灭） 保护好头部和身体，躲藏到桌子下面	不要慌张，确认周围状况 不要往户外跑
办公设施 （防灾中心）	降低身体姿势，保护好头部和身体 通知管辖区内的人员	确认周围状况 不要让设施内的人员往外跑 进行自卫消防队等的训练
在街上 人群聚集的设施 （包括室外）	远离水泥砖墙・招牌・有玻璃的自动贩卖机等处， 听从工作人员的指示，不要惊慌地奔向出口 降低身体姿势，保护好头部和身体	不要慌张，确认周围状况 不要往户外跑
驾车行驶时	不要突然减速 （禁止急刹车） 打开障碍指示灯 确认道路状况后靠左侧停车	※训练当天请遵守 的交通规则，当天 无需实施此项训练 不要慌张，确认周围状况 不要跑出车外
铁道・巴士	握紧车内的吊环、扶手 降低身体姿势	听从工作人员的指示
另外・・・ 诱导设施内人员 确认家人、职工的安全状况 确认避难应急储备物资 召开家庭、公司内的防灾会议 确认回家路线・就近避难所		

找出防震大敌！！

找出因地震的摇晃而会（动、倒、掉、碎、飞）之物并予以防治。

【训练当日之前需确认的事项】

- ☐ 建筑物的耐震性怎样？
- ☐ 是否设想了本地区的震度，地面状况？
- ☐ 家具、物柜的防倒措施如何？
- ☐ 确认应急物品、储备物资了吗？
- ☐ 确认如何保护自身安全了吗？
- ☐ 确认不要慌忙回家
- ☐ 确认回家路线了吗？
- ☐ 确认就近避难所了吗？
- ☐ 如何召开家庭、公司内的防灾会议？
- ☐ 确认灾害用留言电话的使用方法了吗？



大阪880万訓練

Osaka 8.8million drill

2012년 9월 5일(수요일) 오전 11시 동시 실시

목 적

이 훈련의 목적은 재해가 났을 때 한사람 한사람이 어떻게 행동 하면 좋을지 평소에 생각하고 필요한 준비를 해 두어 순간적으로 대처 할 수 있도록 하기 위한 것입니다.

재해는 언제 어디서 어떻게 날지 예상할 수 없습니다. 평소부터 다양한 장면을 상상하면서 준비해 두는 것이 만일의 경우에 도움이 됩니다.

개 요

훈련을 시작하기 전까지 어떻게 할지 하는 것과 비상 준비물·쓰러짐 방지책 등의 점검 등, 일상 준비에 대해서 가족 등 친밀한 사람들과 함께 생각하는 계기가 되었으면 합니다.

2012년 9월 5일(수요일) 오전 11시에, 훈련 긴급 속보 메일 등으로 일제히 지진 발생 정보를 받고 자신의 몸을 지키는 일과, 그 이후 어떤 행동을 할지 등을 생각한다.

훈련 개시의 정보를 받고 각자 미리 생각해 둔 훈련 행동 등을 무리하지 않는 범위내에서 도전해 주십시오.

훈련 종료후 오사카 감재 프로젝트 홈페이지상에서 양케이트를 실시하므로 꼭 협력하여 주십시오.

예(무리가 없는 범위에서, 누구나가 참가할 수 있는 간단한 일을 실행해 보세요)

- 몸을 낮춘다. • 책상아래 등에 숨는다. • 불을 끈다. • 안전한 경로로 피난한다.
- 만일의 경우의 행동을 협의한다. • 재해에 대비해 무엇이 필요할지 생각해 둔다.
- 각 가정에서는...가족의 상태를 확인한다. ●사무소에서는...종업원의 상태를 확인한다.
- 공장에서는....공장설비를 안전하게 정지시킨다. • 작업원의 상태를 확인한다

에리어 메일(NTT-docomo) / 긴급속보 메일(au, Softbank)에 대해서

훈련 당일의 오전 11시에 오사카부내에 있는 휴대폰에 훈련개시 신호로서 발신하는 「훈련 긴급 지진 속보」는 통신회사 에리어 메일/긴급속보 메일 서비스의 「재해·피난 정보」를 이용합니다.. 오사카부내에 있는 휴대폰이 880 만대라고 하면 약 350 만대가 일제히 울릴 것으로 추정되고 있습니다.

「재해·피난 정보」는 통신회사가 제공하고 있는 방재 정보의 무료 발신 서비스로, 통신회사에 따라서 명칭이 다릅니다.. 각 통신회사와 오사카부 사이에 「재해·피난 정보」전달 서비스 계약을 맺고 있어, 재해나 피난 정보를 오사카부가 오사카부내에 있는 에리어 메일/긴급속보 메일 대응 휴대폰 전화기로 직접 발신하는 것입니다. 기종에 따라서는 설정을 해 주실 필요가 있으므로 대응 기종에 대해서는 각 통신회사 홈페이지에서 확인해 주십시오. 「재해·피난 정보」를 수신한 전화기는 통화중이나 전원 오프가 아닌 한 진동모드로 되어 있어도 강제로 울립니다. 수업중이나 회의중 식전중 영화관 도서관 등 휴대폰이 울려서는 안 되는 장소에서는 미리 전원을 꺼 두십시오. 「재해·피난 정보」를 수신할 때의 통신료는 무료입니다. 오사카부지역을 대상으로 「재해·피난 정보」를 발신할 예정이지만 다른 지역과의 경계 부근에 있는 전화기는 오사카부내가 아니더라도 울릴 가능성이 있습니다.

오사카 880 만명 훈련 실행 위원회

오사카부 사무국 위기관리실 재해대책그룹 06-6941-0351 (내선 4886)
오사카시 사무국 위기관리실 위기관리과 06-6208-7387
사카이시 사무국 위기관리실 072-228-7605

주최 홈페이지 http://www.pref.osaka.jp/shobobosai/trainig_top/h24_880.html

생각해 둘 일의 예

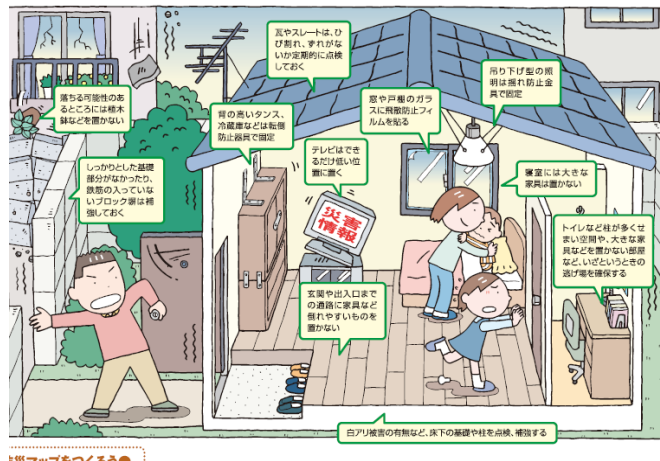
참가종별/내용	긴급진속보 지진발생	진동이 멈추면 건물의 안전이 확인되면
가정 내 사무실 내	가구 등으로부터 멀리 떨어진다. 불을 끈다.(멀리 있는 경우는 무리해서 끄지 않는다.) 머리, 몸을 보호하고 책상아래로 숨는다.	당황하지 말고 상황확인. 밖으로 뛰쳐나가지 않는다.
사업장 (방재센터)	자세를 낮추어 머리 몸을 보호. 관내에 알림.	상황확인 사람들을 밖으로 내보내지 않는다 자위 소방대 등의 훈련
시내, 사람이 많은 시설 (야외 포함)	블록·간판·유리가 있는 자동 판매기 등으로부터 멀리 떨어진다. 관계자 지시에 따른다. 당황해서 출구로 달려나가지 않는다. 자세를 낮추어 머리 몸을 보호.	당황하지 말고 상황확인 밖으로 뛰쳐나가지 않는다.
자동차 운전 중.	갑자기 속도를 줄이지 않는다. (급브레이크 금지) 위험 표시 점멸등 점등 도로상황을 확인하고 좌측으로 정지	당황하지 말고 상황확인 차 밖으로 나가지 않는다.
전철·버스	손잡이, 난간을 꼭 잡는다. 자세를 낮춘다.	관계자의 지시에 따른다.
추가로 . . . 건물 안의 사람들을 유도. 가족, 종업원의 안부 확인 실시. 비축 물자 확인. 가족·사내 방재 회의 개최. 귀가 루트·근처 피난소 확인.		

적을 찾아내자!!

지진의 진동으로 인해 「움직이는, 넘어지는, 떨어지는, 깨지는, 나는」 것을 찾아내서 퇴치하자.

【당일까지의 사전 확인 사항】

- ☐ 건물의 내진성은?
- ☐ 지역의 진도확인·지반상황은?
- ☐ 가구나 사물함의 쓰러짐 방지
조치는?
- ☐ 비품이나 비축물자의 확인은?
- ☐ 신체보호를 위한 확인은?
- ☐ 당황해서 귀가하지 않을지 확인
- ☐ 귀가 루트 확인은?
- ☐ 근처 피난소 확인은?
- ☐ 가족이나 사내 방재 회의 개최는?
- ☐ 재해용 전언 다이얼 사용 방법의
확인은?



大阪880万訓練

Osaka 8.8million drill

Septyembre 5, 2012 (Miyerkoles) 11AM Pagsasanay sa buong Osaka

Layunin

Ang layunin ng drill na ito ay para siguruhin na angbawat tao ay mag-iisip ng pinakamagandang paraan para tumugon sa isang sakuna at maging handa pag dating ng bigla-biglaang sakuna.
Hindi natin alam kung kailan at saan magkakasakuna. Ang pagsanay sa iba't-ibang senaryo at paghahanda habang wala pang nangyayari ay makakatulong sa mabilis na pagkilos pag dating ng oras.

Overview

Bago ang pagsasanay, gumawa ng oportunidad para repasuhin kung papaanong mag-evacuate, kung anong mga bagay ang dapat dalhin pag emergency, kung papaanong ipirmi ang mga kagamitang pambahay, at ang mga puwedeng gawin sa pang-araw araw na buhay. Makakatanggap kayo ng e-mail sa Miyerkules, Septyembre 5, 2012, sa mga 11:00 AM ukol sa emergency drill at tatanungin kayo kung papaano kayo tutugon at protektahan ang sarili ninyo. Tasahin ang planong naisip ninyo pagkatapos ninyong matanggap ang imporsyon ukol sa emergency drill. Pagkatapos ng drill, maglalabas ng palatanungan sa homepage ng Osaka Disaster Project website. Mangyari po lamang na pakisagutan ito.

Halimbawa: (Subukan ang pwedeng gawin ng kahit sinuman na hindi mo pinipilit masayado ang sarili mo.)

- Huwag tumayo ●magtago sa ilalim ng mesa ●Magsanay sa pagpatay ng apoy ●Paglisan gamit ang ligtas na rota.
- Pagkumpirma sa pagtugon sa isang emergency kasama ang pamilya/kaibigan ●pag-isipan kung ano ang kailangan sa isang sakuna
- Sa bawat tahanan ●kumpirmahin ang kaligtasan ng mga miyembro ng pamilya. ●Sa opisina ●pagkumpirma ng kaligtasan ng mga empleyado
- Sa pabrika ●patayin ang mga kagamitan at makina sa pabrika ●kumpiramahin ang kaligtasan ng mga manggagawa

Tungkol sa "Area Mail" (NTT-docomo)/"Emergency Alert Mail" (au, Softbank)

Ang "Mock Earthquake Emergency Alert" na matatanggap ng mga cell phones nasa Osaka ng 11AM sa araw ng emergency drill, gamit ang "area mail service" ng mga kumpanya ng cell phone o "Disaster/Evacuation Information" emergency alert mail service, ang maghuhudyat ng simula ng drill. Nangangahulugan ito na kung may mga 8.8 milyon na cell phone dito sa Osaka, mga 3.5 milyon na telepono ang sabay-sabay na tutunog.

Ang "Disaster/Evacuation Information" ay isang libreng serbisyo ng mga cell phone company at iba-iba ang tawag sa serbisyonang ito, depende sa kumpanya. May kontrata ang mga kumpanya at gobyerno ng Osaka na magpadala ng "Disaster/Evacuation Information" at impormasyon tungkol sa sakuna at ebakwasyon na galling sa gobyerno ng Osaka sa mga cell phone na kayang tumanggap nitong area mail o emergency alert mail.

May ilang teleponong kailangang i-set kaya tignan sa homepage ng kumpanya ng cellphone ninyo tungkol sa inyong telepono.

Mga teleponong tatanggap ng "Disaster/Evacuation Information" ay tutunog o magva-vaybreyt basta hindi ito nakapatay o may tinatawagan. Kung nasa kase ka, nasa miting o isang pag-sama-sama, nasa sinehan, sa library, o kahit saan na hindi pwedeng patunugin ang telepono, pakipatay na lang ang cell phone ninyo.

Libre ang pagtanggap ng "Disaster/Evacuation Information". Ang "Disaster/Evacuation Information" ay ipapadala lang dito sa mga nasa Osaka lamang. Subalit maaring tumunog din ang mga teleponong nasa Prefecture na malapit sa Osaka.

Osaka 8.8 million drill Steering Committee

Osaka Prefecture Administrative Office : Disaster Management Measures Team, Crisis Management Office 06-6941-0351 (ext.4886)

Osaka City Administrative Office : Emergency Management Section, Office of Emergency Management 06-6208-7387

Sakai City Administrative Office : Crisis Management Office, 072-228-7605

Official Website http://www.pref.osaka.jp/shobobosai/trainig_top/h24_880.html

Mga Halimbawa kung Papaano Tumugon Kapag Lumindol

Lugar/Aksyon	Babala na may Parating na Lindol Kapag Lumilindol	Kapag Tumigil ang Pagyayanig Kapag Nakumpirma na Hindi Delikado ang Gusali
Sa Bahay Sa Trabaho	- Lumayo sa mga kasangkapan sa bahay - Patayin ang kalan (kung malayo sa kalan, huwag ilagay ang sarili sa panganib para lang patayin ito) - Protektahin ang ulo at katawan sa pamamagitan ng pagsilong sa ilalim ng mesa	- Huminahon at suriing mabuti ang sitwasyon - Huwag tumakbo palabas
Opisina (Disaster Response Team)	- Ibaba ang ulo at protektahin ito at ang katawan - Balaan ang lahat nang nasa opisina	- Suriin ang sitwasyon - Huwag palabasin ng gusali ang mga tao - Training ng bumbero
Sa Bayan Lugar na Siksikan (Lugar na nasa labas)	- Lumayo sa mga maaring matumba tulad ng dingding, karatula, salamin, at vending machines - Sumunod sa instruksyon ng namumuno at huwag magmamadaling lumabas - Ibaba ang ulo at protektahin ito at ang katawan	- Huminahon at suriing mabuti ang sitwasyon - Huwag magmadaling lumabas
Habang Nagmamaneho	- Huwag magbagal ng biglaan (Huwag magpreno ng biglaan) - Buksan ang hazard light - Suriin ang sitwasyon at huminto sa kaliwang bahagi ng kalye *Sundan ang patakarang pantrapiko kahit may sakuna.	- Huminahon at suriing mabuti ang sitwasyon - Huwag tumalon palabas mula sa kotse
Tren o Bus	- Humawak ng mabuti sa hawakan. - Ilagay ang sarili sa mababang posisyon	- Sumunod sa mga instruksyon ng mga tauhan ng tren/bus.

At...

- Pagturo sa mga tao sa loob ng gusali kung ano ang gagawin
- Pagkumpirma ng kaligtasan ng pamilya at ibang empleyado
- I-tsek ang mga emergency supply
- Bumuo ng miting para sa disaster prevention kasama ang pamilya/kasamahan sa opisina
- Pagkumpirma ng ibang madadaanan pauwi at kung saan ang malapit na evacuation center

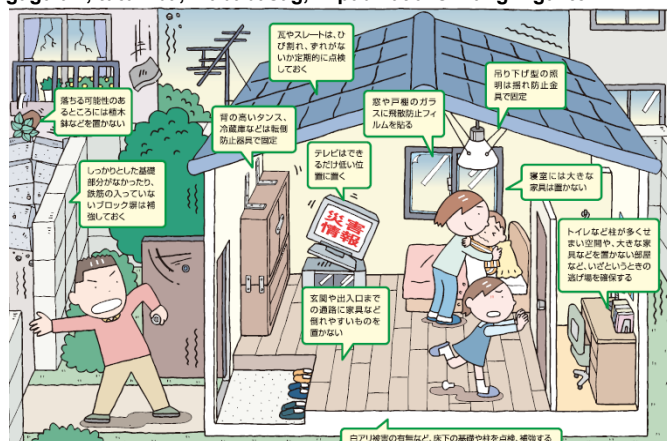


Alamin ang mga mapanganib!!

Alamin kung anong mga bagay ang “gagalaw, tutumba, mababasag, lilipad” at alisin ang mga ito.

[Listahan ng dapat malaman o gawin bago magkasakuna]

- Alamin ang resistensya ng gusali sa lindol
- Local magnitude forecast, geology
- Pagpirmi ng kagamitang pambahay
- Mag-imbak ng pagkain pang emergency
- Ang pag -protekta sa sarili
- Iwasan ang mapanganib na paraan sa pag-uwi.
- Alamin ang ibang daan pauwi
- Alamin ang pinakamalapit na evacuation center sa lugar mo
- Miting ng pamilya/opisina para sa disaster prevention
- Pag-aralan ang paggamit ng emergency messaging system (dial 171)



地震対策のポイント

大阪880万訓練

Osaka 8.8million drill

Thực hiện đồng loạt vào buổi sáng (Thứ tư) 11 giờ, ngày 5 Tháng 9 năm 2012

Mục tiêu

Mục đích của buổi thực tập này là tập cho mỗi người có thói quen suy nghĩ làm thế nào tốt nhất khi thiên tai xảy ra, chuẩn bị những gì cần thiết, để đối phó với thiên tai đến bất ngờ.

Không dự kiến trước được thiên tai đến như thế nào, ở đâu, khi nào. Vì thế lúc bình thường bạn nên tưởng tượng ra các tình huống khác nhau, chuẩn bị sẵn những gì cần thiết, khi trường hợp khẩn cấp xảy ra Nó sẽ giúp ích cho Bạn.

Tổng quát

Trước khi tham gia buổi thực tập, đây là một dịp để gia đình bạn và những người xung quanh cùng suy nghĩ như : làm thế nào để lánh nạn, mang những gì theo khi khẩn cấp, và các biện pháp ngăn ngừa đồ ngã.

Sáng(thứ tư)11giờ ngày 5 tháng 9 năm 2012, Bạn sẽ nhận được thông tin, có động đất xảy ra đồng loạt qua email thông tin buổi thực tập Cảnh báo động đất khẩn cấp. Khi đó Bạn kiểm tra an toàn cho mình, sau đó bạn suy nghĩ xem mình cần làm gì.

Khi nhận được thông tin bắt đầu buổi thực tập, từng người phải suy nghĩ trước xem, mình làm được gì trong khả năng có thể, và hãy làm thử trong buổi thực tập .

Sau khi kết thúc buổi thực tập mong các Bạn hãy điền vào bảng câu hỏi(bảng thống kê) trên trang web của dự án giảm nhẹ thiên tai của Osaka

Những ví dụ (Trong khả năng có thể, Bạn hãy làm thử những điều đơn giản mà người nào cũng có thể tham gia được)

- cúi thấp người xuống • ẩn nấp dưới bàn • tắt lửa • lánh nạn theo tuyến đường an toàn
 - thống nhất các hành động khi khẩn cấp • nghĩ trước những gì cần thiết khi thiên tai xảy ra
 - Trong mỗi nhà • • • xác nhận an toàn cho các thành viên trong gia đình
 - Trong văn phòng • • • xác nhận an toàn cho nhân viên
 - Trong các nhà máy sản xuất • • • để giữ an toàn các thiết bị của nhà máy cho ngừng hoạt động(tắt máy)
- xác nhận an toàn cho người lao động.

Về "Email cảnh báo động đất khẩn cấp" (NTT DoCoMo) / "Email thông báo khẩn cấp " (au, Softbank)

Lúc 11 giờ sáng của ngày thực tập các điện thoại di động trong phủ Osaka sẽ báo tín hiệu bắt đầu 「 buổi thực tập Cảnh báo động đất khẩn cấp 」 . Bạn có thể sử dụng dịch vụ email thông báo khẩn cấp của các công ty điện thoại di động 「 thông tin về lánh nạn • thiên tai 」 . Ước tính tổng số điện thoại di động trong phủ Osaka là 8.800.000 máy thì có khoảng 3.350.000 máy sẽ đồng loạt reo.

「 thông tin về lánh nạn • thiên tai 」 là một dịch vụ miễn phí báo các thông tin về thiên tai do công ty điện thoại di động cung cấp. Tùy theo từng công ty điện thoại di động mà nó có tên riêng khác nhau. Giữa từng công ty điện thoại di động và Phủ Osaka có ký kết hợp đồng dịch vụ cung cấp 「 thông tin về lánh nạn • thiên tai 」 , Từ Phủ Osaka sẽ gửi trực tiếp đến các điện thoại di động đã đăng ký nhận email cảnh báo khẩn cấp/ email ở các khu vực trong Phủ Osaka.

Bạn cần phải cài đặt tùy theo từng loại điện thoại, loại điện thoại nào có thể đáp ứng được hay không thì các bạn hãy tham khảo trong trang web của các công ty điện thoại cầm tay.

Khi nhận 「 thông tin về lánh nạn • thiên tai 」 trừ trường hợp máy bạn hay bạn tắt nguồn, thì dù máy bạn có để chế độ im lặng đi chăng nữa Nó cũng sẽ reo. Nếu Bạn đang trong giờ học, đang họp, trong buổi lễ, trong rạp chiếu phim, trong thư viện thì Bạn nên tắt nguồn trước.

Cước phí để nhận 「 thông tin về lánh nạn • thiên tai 」 là miễn phí. Các 「 thông tin về lánh nạn • thiên tai 」 sẽ được gửi cho các đối tượng trong khu vực Phủ Osaka. Các Phủ, Huyện khác ở lân cận ranh giới dù không nằm trong địa bàn Phủ Osaka nhưng cũng có khả năng nhận được thông tin.

Ban chấp hành thực tập cho 8.800.000 người Osaka.

Văn phòng Phủ Osaka Tập đoàn phòng chống thiên tai, Phòng quản lý nguy cơ 06-6941-0351 (nội tuyến 4886)

Văn phòng Thành phố Osaka Phòng quản lý nguy cơ Ban quản lý nguy cơ 06-6208-7387

Văn phòng Thành phố Sakai Phòng quản lý nguy cơ 072-228-7605

Trang web thực tập cho 8.800.000 người Osaka http://www.pref.osaka.jp/shobobosai/trainig_top/h24_880.html

NHỮNG VÍ DỤ ỨNG PHÓ VỚI ĐỘNG ĐẤT

Địa điểm / nội dung hành động	Cảnh báo động đất khẩn cấp xảy ra động đất	Khi độ rung của động đất dừng, Sau khi kiểm tra an toàn của tòa nhà
tại nhà tại văn phòng	-Tránh xa các đồ nội thất. -Tắt bếp (nếu đứng xa, thì không nên cố tắt để gây nguy hiểm cho mình) -Ẩn/núp dưới bàn để bảo vệ đầu và thân thể.	-Giữ bình tĩnh và kiểm tra tình hình. - Không nên vội vã ra ngoài
Văn phòng(Trung tâm Phòng chống thiên tai)	-Giữ tư thế thấp để bảo vệ đầu và cơ thể của bạn - Thông báo cho tất cả mọi người trong tòa nhà.	-Kiểm tra tình hình -Không để mọi người rời khỏi tòa nhà -Tập huấn của nhân viên cứu hỏa
trung tâm thành phố. Nơi đông người (Bao gồm cả ngoài trời)	- Tránh xa các hàng rào,vách tường, bảng hiệu, kiếng , và máy bán hàng tự động. - Tuân thủ theo các hướng dẫn của nhân viên, không vội vàng chạy ra theo lối ra. -Giữ tư thế thấp để bảo vệ đầu và cơ thể của bạn.	-Giữ bình tĩnh và kiểm tra tình hình. - Không nên vội vã ra ngoài
Khi đang lái xe	- Không giảm tốc độ bất ngờ.. (Đường thẳng(phanh) gấp) - Bật đèn báo nguy -Dừng lại bên trái để kiểm tra tình hình đường xá	※Tuân thủ theo qui định giao thông. trên thực tế không được làm như thế -Giữ bình tĩnh và kiểm tra tình hình. - Không chạy ra khỏi xe.
Đường sắt/ Xe buýt	- Nắm chặt dây treo,thanh vịn. -Giữ tư thế thấp.	- Tuân thủ theo các hướng dẫn của nhân viên

Ngoài ra . . .

- Theo sự hướng dẫn của người trong tòa nhà.
- Xác nhận xem người thân trong gia đình, nhân viên và các vật liệu lưu trữ có an toàn hay không.
- Tổ chức các buổi nói chuyện về phòng chống thiên tai trong gia đình và trong Công Ty.
- Xác nhận tuyến đường về nhà và nơi lánh nạn gần nhất.

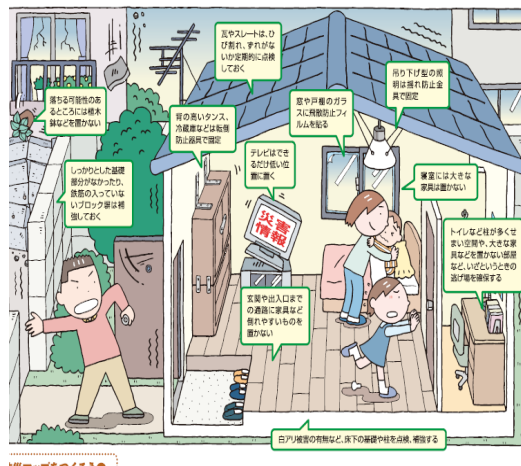



Xác định các rủi ro!

Khi động đất xảy ra, cần xác định các đồ vật dễ bị "di chuyển, đổ, rơi xuống, vỡ bể, bay" để tránh rủi ro.

【Những điều mục cần kiểm tra trước khi động đất xảy ra】

- ☐ Sức chịu đựng động đất của tòa nhà ?
- ☐ Dự đoán cường độ rung của khu vực -
tình hình địa chất ?
- ☐ Biện pháp bảo vệ các đồ nội thất, tủ ?
- ☐ Kiểm tra thiết bị và các vật liệu lưu trữ ?
- ☐ Xác nhận xem mình có an toàn không ?
- ☐ Không vội vã về nhà ?
- ☐ Xác nhận tuyến đường về nhà ?
- ☐ Xác nhận nơi lánh nạn gần nhất ?
- ☐ Tổ chức các buổi nói chuyện về phòng chống
thiên tai trong gia đình và trong Công Ty ?
- ☐ Xác nhận cách liên lạc trong tình trạng khẩn cấp
hệ thống nhắn tin (quay số 171) ?



® ¥ ¤ " 7

fiction

μ<CEa (≈CFØ μΔΔâ-ÂΔΔ-ΔCΔi „¥ [fCEfμΔΔΣi „¥

- iPhone “Area Mail” (NTT-docomo) / 対応機種: iPhone 4s以降 (au, Softbank)

[illegible]

~ 17 ~

การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ

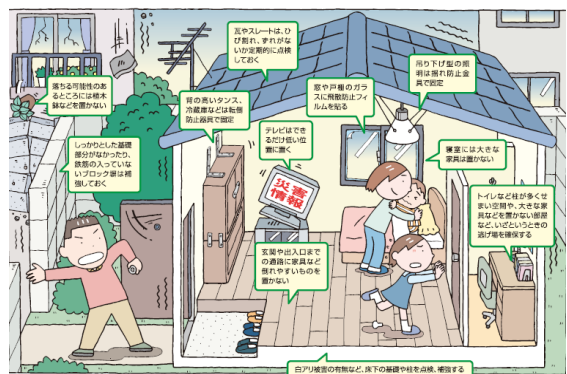
ชื่อ-สกุล ;ชื่อ-นามสกุล	คำศัพท์ ;คำศัพท์	คำศัพท์ ;คำศัพท์
ชื่อ-สกุล ชื่อ-นามสกุล	ชื่อ-สกุล ชื่อ-นามสกุล	ชื่อ-สกุล ชื่อ-นามสกุล
ชื่อ-สกุล ชื่อ-นามสกุล	ชื่อ-สกุล ชื่อ-นามสกุล	ชื่อ-สกุล ชื่อ-นามสกุล
ชื่อ-สกุล ชื่อ-นามสกุล	ชื่อ-สกุล ชื่อ-นามสกุล	ชื่อ-สกุล ชื่อ-นามสกุล
ชื่อ-สกุล ชื่อ-นามสกุล	ชื่อ-สกุล ชื่อ-นามสกุล	ชื่อ-สกุล ชื่อ-นามสกุล

การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ !!

การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ “การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ” เป็นการฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ

การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ

- การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ
- การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ
- การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ
- การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ
- การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ
- การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ
- การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ
- การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ
- การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ
- การฝึกซ้อมอพยพหนีไฟ



大阪880万訓練

Osaka 8.8million drill

5 de septiembre de 2012(mi é) a partir de las 11am

Objetivo

El propósito de este simulacro es mentalizar a cada uno de los participantes para que sepan cómo reaccionar ante un desastre y que siendo preparados desde siempre puedan tomar acciones correctas en el instante. Ya que los desastres no son posibles de prevenirlos es preciso estar preparados para casos diferentes por si acaso.

Sumario

Antes de la fecha de este simulacro hable con su familia o gente cercana sobre cómo refugiarse y de cosas que hay que tener en cuenta desde siempre tales como cosas para llevar en caso de emergencia, contramedida para caída de muebles etc...

Tras recibir la alerta a las 11 de la mañana del día 5 de septiembre de 2012 piense en protegerse contra el desastre y cómo reaccionar después.

Tras recibir la alerta realice su plan de simulacro que de antemano tenía previsto dentro de lo que es posible.

Después del entrenamiento se realizará una encuesta en la página web de la ciudad de Osaka contra desastres, esperamos su colaboración.

Ejemplos (Dentro de lo que cabe realice las actividades fáciles de ejercer como los siguientes)

- Agacharse • Refugiarse debajo de escritorio • Apagar fuego • Refugiarse por una ruta segura
- Ponerse de acuerdo las acciones a tomar en caso de emergencia • Considerar en las previsiones necesarias en caso de desastres
- En el hogar • • • Asegurarse de que los miembros estén bien ● En la oficina • • • Asegurarse de que los empleados estén bien
- En la fábrica • • • Parar los equipos de manera segura • Asegurarse de que los empleados estén bien

Sobre "Area mail"(NTT-docomo)/ mensaje de emergencia(au, Softbank)

A las 11 de la mañana del día del simulacro se enviará de manera colectiva a los teléfonos móviles de los habitantes de prefectura de Osaka una alerta para avisar el comienzo del simulacro para un supuesto caso de terremoto. Para aportar las informaciones acerca del desastre y refugio se utilizará el servicio de "Area mail" o mensaje de emergencia que disponen las compañías telefónicas. Suponiendo que en la prefectura de Osaka existen unos 8.8 millones de teléfonos móviles, se preve que sonarán unos 3.5 millones al mismo tiempo.

El llamado mensaje de emergencia es el servicio gratis de informaciones en caso de desastre y cada telefonía tiene servicio similar con diferentes nombres. El gobierno prefectural de Osaka tiene contrato con las compañías telefónicas para que las informaciones se distribuyan directamente a cada teléfono móvil capacitado para recibir area mail o mensaje de emergencia. Dependiendo del tipo de dispositivo se necesita realizar ajustes. Para más información consulte la página web de la compañía telefónica correspondiente.

Ya que tras recibir la información acerca del desastre y refugio el teléfono sonará aunque esté en modo de silencio a menos que lo tenga apagado o esté llamando, por eso deberá tenerlo apagado de antemano si está en una situación que requiera silencio como en una clase, reunión, ceremonia, cine, biblioteca etc...

La tarifa para recibir el mensaje de desastre y refugio es gratis. La alerta se distribuirá a los teléfonos que están en la provincia de Osaka, sin embargo en caso de estar en la provincia cerca de la frontera con Osaka puede que suene también.

Comité para el Simulacro de Emergencia para 8.8millones de habitantes de Osaka

Departamento contra Desastres de la Oficina de Control de Emergencias de la ciudad de Osaka 06-6941-0351(Extensión 4886)

Oficina de Control de Emergencias de la ciudad de Osaka 06-6208-7387

Oficina de Control de emergencias de la ciudad de Sakai 072-228-7605

Página web de Simulacro de Emergencia para 880millones de habitantes de Osaka

http://www.pref.osaka.jp/shobobosai/trainig_top/h24_880.html

Ejemplos de cosas a tener en cuenta

Lugar/Descripción	Al recibir una alerta sísmica Al ocurrir un terremoto	Después del temblor Tras confirmar el buen estado del edificio
Hogar u oficina	Alejarse de los muebles. Apagar el fuego (en caso de estar lejos del fuego no intente acercarse forzosamente) Proteger la cabeza y el cuerpo, esconderse debajo de la mesa.	Observar el alrededor con calma. No se precipite fuera de la puerta.
Oficina(Centro de Prevención de Desastres de la ciudad)	Manténgase agachado, protéjase la cabeza y el cuerpo. Informar a toda la oficina.	Observar el alrededor. No permitir que la gente dentro del edificio salga a la calle. Preparación y entrenamiento del equipo de los bomberos voluntarios.
En la ciudad o dentro de los establecimientos con mucha gente(incluida la parte exterior)	Mantenerse lejos de murallas, letreros y máquinas expendedoras con frente de cristal. Siga las instrucciones del personal y nunca precipitarse a la salida. Manténgase agachado, protéjase la cabeza y cuerpo.	Observar el alrededor con calma. No se precipite fuera de la puerta.
Mientras conduciendo	No bajar la velocidad de repente. (prohibido frenar bruscamente) Activar la luz intermitente. Confirme la situación de la carretera y detenga el vehículo en el lado izquierdo.	Observar el alrededor con calma. No se precipite fuera del vehículo.
Tren y autobus	Agarrarse bien a los asideros. Mantenerse agachado.	Siga las instrucciones del personal.

Y también...

Orientar a la gente en el edificio.
Confirmar el estado de seguridad de la familia y empleados.
Asegurar las provisiones.
Tenga reunión para compartir el conocimiento acerca de evacuación en caso de desastres.
Asegurar el camino de regreso a casa y lugar de refugio cercano.

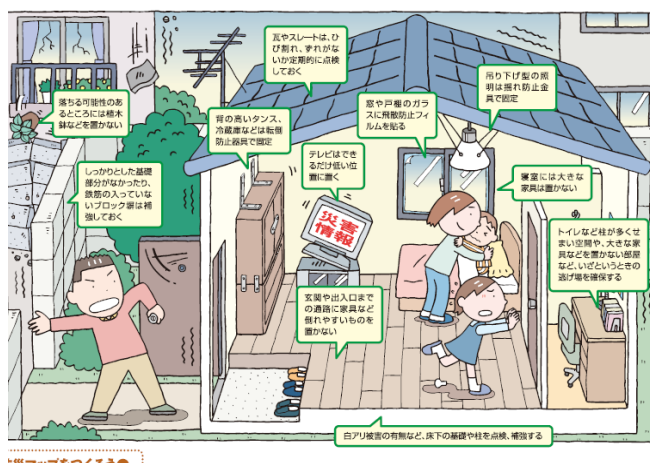



¡ ¡Identifique los objetos peligrosos!!

Tenga cuidado con los objetos que pueden moverse, derrumbarse, caer o volar y tome medidas de prevención.

【Lista de las cosas que hay que tener en cuenta previamente】

- ❑ Resistencia del edificio contra sismo.
- ❑ Magnitud de temblor prevista para la zona y condición geográfica.
- ❑ Contramedida para posible derrumbe de muebles.
- ❑ Asegurar las provisiones.
- ❑ Medidas de auto protección.
- ❑ Evite volver a casa antes de asegurar la seguridad.
- ❑ Asegúrese de las rutas para volver a casa.
- ❑ Asegúrese del lugar de refugio cercano.
- ❑ Tener reunión o en casa o en la oficina para compartir el conocimiento acerca de evacuación en caso de desastre.
- ❑ Tenga seguros los números de emergencia en caso de desastres.



大阪880万訓練

Osaka 8.8million drill

Realização em 5 de Setembro de 2012 (quarta-feira) às 11:00h

OBJETIVO

O propósito desse treinamento é fazer com que cada pessoa, no seu dia a dia, pense sobre o que será melhor fazer quando acontecer alguma calamidade. Deixar feito os preparativos necessários para que possa agir rapidamente em caso de emergência. Não é possível prever, quando, onde, como vai acontecer um desastre. Vai ajudar quando acontecer alguma coisa se no seu dia a dia você imaginar várias situações e se preparar,.

RESUMO

Antes de iniciar o treinamento, peço que pensem juntamente com seus familiares e pessoas próximas, sobre a preparação diária da checagem da maneira de refugiar, dos objetos de emergência, das medidas para evitar que os móveis caiam, etc.

No dia 5 de Setembro de 2012 (quarta-feira), às 11:00h, receberá informações através de um e-mail de Alerta de Treinamento, sobre um terremoto ocorrido. Pense em como se proteger e em seguida, como agir.

Receba a informação do início do treinamento e então sem forçar, procure agir da maneira como pensou previamente sobre o seu comportamento no treinamento.

Após o treinamento, queira colaborar respondendo a enquete no website Projeto de Controle de Desastres de Osaka.

Exemplo (dentro do possível, procure fazer algo simples que qualquer pessoa possa participar)

- Abaixar o corpo • Refugiar-se embaixo da mesa • Apagar o fogo • Refugiar-se por um caminho seguro
- Combinar sobre como se comportar em emergências • Pensar sobre o que é necessário no preparo contra desastres
- Cada famíliacertificar-se da situação da família
- No trabalho certificar-se da situação dos trabalhadores
- Na fábricaparar as maquinárias com segurança • certificar da situação dos trabalhadores

Sobre "Área Mail"/ (NTT—docomo)/ Alerta de Emergência por e-mail (au, Softbank)

Às 11:00h do dia do treinamento, utilizando os serviços de Área Mail / 『Informações sobre desastres e evacuação』 dos serviços de alerta por e-mail das companhias de celulares, vai ser enviado o 「Alerta de Terremoto para Treinamento」 como sinal do início do treinamento a todos os celulares que estiverem dentro da Província de Osaka. Se houverem 8.8 milhões de celulares dentro da Província de Osaka, está previsto que aproximadamente 3.5 milhões de celulares vão tocar ao mesmo tempo.

『Informações sobre desastres e evacuação』 é um serviço de informações sobre prevenção de desastres distribuídas gratuitamente pelas companhias de celulares e dependendo da companhia, a denominação difere. Cada companhia tem contrato com o Governo de Osaka de distribuição de 『Informações sobre desastres e evacuação』 e o Governo de Osaka envia diretamente as 『Informações sobre desastres e evacuação』 a todos os celulares habilitados aos serviços do Área Mail/ Alerta de Emergência por e-mail dentro da Província de Osaka. Dependendo do aparelho, há necessidade de configuração. Então, verifique os detalhes no website da companhia de celular correspondente.

No momento que receber as『Informações sobre desastres e evacuação』, a não ser que esteja desligado ou telefonando, o celular vai tocar ou vibrar mesmo que esteja no modo silencioso. Se estiver em uma situação onde o celular não deva tocar como em uma reunião, em uma cerimônia, no cinema, biblioteca, etc, queira desligar o celular previamente,.

A tarifa ao receber a mensagem 『Informações sobre desastres e evacuação』 é gratuita. 『Informações sobre desastres e evacuação』 serão enviadas aos celulares que estiverem dentro da Província de Osaka, mas eventualmente, os celulares que estiverem em outras províncias, nas fronteiras de Osaka, poderão tocar.

Comitê Executivo do Treinamento de 8.8 milhões de pessoas em Osaka

Escritório do Estado de Osaka Sala de Gestão de Crises, Grupo de Prevenção contra Desastres
06-6941-0351 (ramal 4886)

Escritório da Prefeitura de Osaka Sala de Gestão de Crises, Seção de Gestão de Crises
06-6208-7387

Escritório da Prefeitura de Sakai Sala de Gestão de Crises 072-228-7605

Website oficial do Treinamento de 8.8 milhões de pessoas em Osaka
http://www.pref.osaka.jp/shobobosai/trainig_top/h24_880.html

EXEMPLOS DO QUE PODEMOS DEIXAR PENSADO

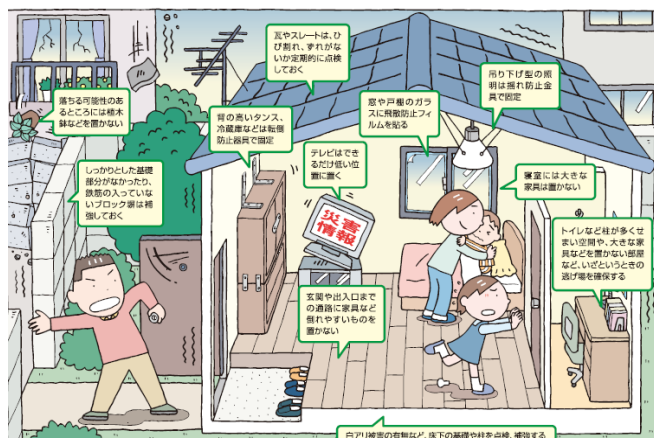
LOCAIS	ALERTA DE EMERGÊNCIA DE TERREMOTO NA HORA DO TERREMOTO	Depois que o tremor cessar Quando puder verificar a segurança do edifício
Dentro da residência Dentro do escritório	-Se afaste dos móveis -Apague o fogo (se estiver longe não force) -Proteja a cabeça, o corpo e abrigue-se embaixo da mesa	-Verifique a situação com calma -Não vá para fora precipitadamente
Centro de Prevenção à Desastres	-Abaixe o corpo e proteja a cabeça e o corpo -Avisar as pessoas presentes no Centro	-Verifique a situação -Não deixar que as pessoas que estiverem no local, saiam -Treinamento da equipe de bombeiros voluntários
Na cidade Instituições Públicas (incluindo áreas externas)	-Se afaste dos muros, placas, vidros, máquinas de venda automática, etc. -Obedeça as instruções do encarregado e não se precipite em direção às saídas -Proteja a cabeça e o corpo	-Verifique a situação com calma -Não vá para fora precipitadamente
Quando estiver dirigindo	-Não diminua a velocidade repentinamente (Proibido frear repentinamente) -Acionar o pisca-alerta -Verificar a situação e parar no lado esquerdo ※No dia do treinamento, obedeça as leis de trânsito, não pratique essas ações realmente no dia do treinamento.	-Verifique a situação com calma -Não saia para fora do carro precipitadamente
Trem • Ônibus	-Agarre as barras ou as alças -Mantenha o corpo abaixado	-Siga as instruções do encarregado
Além disso..... -Orientar as pessoas presentes no edifício -Verificar a segurança dos familiares e funcionários -Checar o estoque de suprimentos -Realizar reuniões de prevenção contra desastres com familiares e no trabalho -Verificar o percurso de volta para casa e certificar do abrigo mais próximo 		

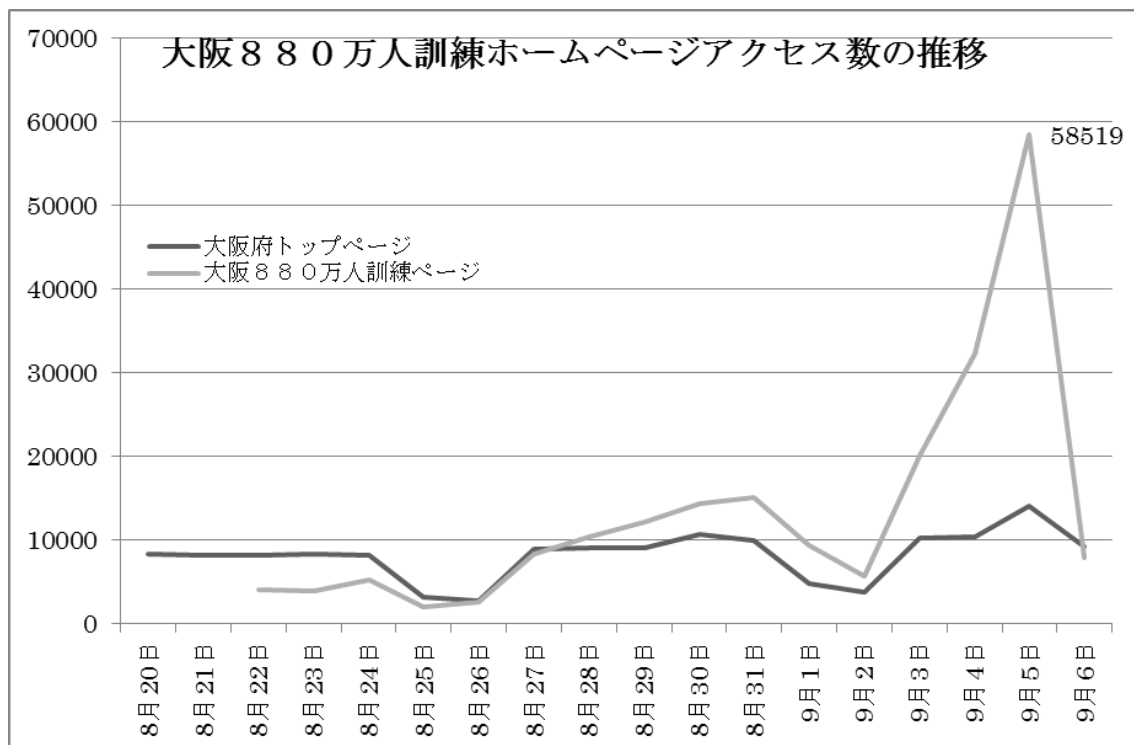
Vamos identificar os perigos!!

Com o balanço sísmico, vamos procurar as coisas que 「movam, tombem, caiam, quebrem, saltem」 e vamos eliminar o perigo.

[Pontos a serem verificados previamente]

- ☐ Como é a resistência sísmica do edifício?
- ☐ Qual o grau do terremoto previsto na região e a situação geográfica?
- ☐ Tomou medidas para que os armários e outros móveis não tombem?
- ☐ Verificou o estoque dos suprimentos e objetos de emergência?
- ☐ Verificou a maneira de se proteger?
- ☐ Voltar para casa após verificar a segurança
- ☐ Verificou o percurso até sua casa?
- ☐ Verificou o abrigo mais próximo?
- ☐ Realizou reuniões de prevenção contra desastres com familiares e no trabalho?
- ☐ Verificou como se usa o serviço de transmissão de recados por telefone em casos de desastres?





雪印メグミルクネオン（道頓堀）
6月～9月電光表示



地下鉄駅掲示状況

大阪府トップページ掲載（7月2日～）



大阪府発行「府政だより」：大阪府内4大新聞に折り込み配布

府政だより6月号

大阪 880万人 訓練

Osaka 8.8million drill

9月5日(水) 11時 実施決定!!

携帯電話の訓練緊急速報が
一斉に鳴ります!

- ▶一人ひとりが身を守る行動や
避難行動にチャレンジ
- ▶防災・減災を考えるきっかけに

HP 大阪880万人訓練 検索

府民お問合せセンター
☎06(6910)8001

災害から命を守るのは自分

～地震発生! その時あなたはどうしますか?～

東日本大震災の際、生死を大きく分けたのは地震直後の判断と行動でした。いざという時にきちんと行動できるよう、防災訓練に参加するとともに日頃の備えや災害発生時の行動について、家族で、学校で、職場で話し合ってみましょう。

HP おおさか防災ネット 検索

府政だより7月号

大阪 880万人 訓練

Osaka 8.8million drill

府民お問合せセンター
☎06(6910)8001

9月5日(水) 11時 実施!!

携帯電話の
訓練緊急速報が
一斉に鳴ります!

※訓練緊急情報が鳴る携帯電話の機種については、下記HPまたは府民お問合せセンターにお問合せください

HP 大阪880万人訓練 検索

普段の備えがあなたの命を守ります

家の中に「安全空間」を作ろう

- ☐ 背の高い家具などは、留め具等で固定
- ☐ 非常持ち出し品を玄関などに準備しよう
- ☐ ラジオ、懐中電灯などは電池も点検
- ☐ 最寄の避難場所・経路を確認しておこう
- ☐ 家族との再会場所をあらかじめ相談

HP おおさか防災ネット 検索

府政だより9月号

大阪 880万人 訓練

Osaka 8.8million drill

府民お問合せセンター
☎06(6910)8001

9月5日(水) 11時 実施!!

携帯電話が一斉に鳴り、訓練緊急地震速報が配信されます!

- ▶マナーモードにしても鳴ります。式典会場や映画館などでは電源を切ってください
- ▶訓練緊急地震速報が鳴る携帯電話の機種については、HPまたは各携帯電話会社へご確認ください

NTTドコモ 0120(800)000
au 0077(7)111
ソフトバンク 0800(919)0157

訓練緊急地震速報の音、送信されるメール文は下記HPでご確認いただけます

HP 大阪880万人訓練 検索

あなたの訓練内容を投稿してください

防災・減災のためにおおさか減災プロジェクトで情報を共有しよう

おおさか減災プロジェクトとは

- 減災に役立つ情報をパソコンや携帯電話で府民が投稿し、リアルタイムに閲覧できます。
- 登録不要、無料です!
- 写真・動画の投稿は歓迎しません

大阪880万人訓練アンケート

訓練後下記HPでアンケートを実施します。ご協力をお願いします。

HP おおさか減災プロジェクト 検索

非常持ち出し品・非常用備蓄品チェックリスト

家族の3日分が準備の目安です。
家族構成に応じて準備することが重要です。

食料品関係

飲料水 (1人1日3ℓ)
家族3日分の食料
缶切り・ハサミ
食器類 (皿・スプーン・カップ)

医療品等

救急セット (三角巾・消毒薬・軟膏など)
家族が常用している薬
生理用品
紙おむつ・粉ミルク・ほ乳瓶

衣類

動きやすい服装の着替え・スウェット・シャツ・セーター・下着・靴下
タオル・バスタオル

日用品

懐中電灯
ラジオ
電池の予備
ライター・マッチ・ロウソク
携帯コンロ
ガスボンベの予備
手袋 (軍手)
石けん
筆記用具・メモ用紙
近郊の地図
ちり紙・ロールペーパー
ビニール袋 (大・小)
ロープ・ガムテープ

貴重品

現金 (札と小銭)
身分証明書の写し
健康保険証の写し
貯金通帳の写し
認印

非常食に適した食料
乾パン、レトルト食品 (お粥等の主食)、缶詰、アルファ化米などの他、チョコレート・ビスケット・キャラメル・パウチスタイルゼリー飲料なども有効な非常食になります。

※これらはあくまでも一般的なものですので、各ご家庭にあったものをご用意ください。

備えが肝心！わが家の安全対策

地震が起きた時の被害を最小限にとどめるために、日頃からわが家の安全対策を心がけましょう。

1. わが家の安全対策をしよう！

- ・家具類は、器具や留め金などで固定し転倒防止
- ・火元のそばに、消火器やエアゾール式簡易消火具の備え
- ・家屋の柱、土台、屋根瓦などを点検・補強
- ・ブロック塀や石塀の点検・補強で倒壊を防止
- ・非常持ち出し袋を持ち出しやすい場所に用意



2. 家族会議で話し合おう！

- ・地震の時の避難路と避難場所
- ・家族の役割分担 (火気の点検や持ち出し品)
- ・家族間の連絡方法と落ち合う場所

覚えておこう！災害用伝言ダイヤル

大規模災害に遭った時、家族や友人に無事を知らせたい、家族や友人の安否を確認したい。そんな時に利用できるのが、この伝言ダイヤルです。

※携帯電話・PHSからも利用できますが、詳しくはお客様がご契約されている通信業者へご確認ください。

被災したAさんが、無事であることを伝えたい

伝言録音 171 + 1 + Aさんの自宅の電話番号

家族や親戚・友人がAさんの安否を確認したい

伝言再生 171 + 2 + Aさんの自宅の電話番号

東南海・南海地震に備えろ！って… どうしたらいいんですか!?

次の3つをチェックしてみましょう！

1 地震が発生したら！

部屋の中では、丈夫なテーブルなどの下にもぐって、身を守る姿勢をとりましょう。外では、ブロック塀の近くや落下物がありそうな場所、崖、橋などの危険な場所から離れましょう。東南海・南海地震の場合、2～3分もの長い時間揺れ続けるので、

落ち着いて揺れがおさまるまで、
ひたすらじっと身を守りましょう。



2 揺れがおさまったら！

揺れがおさまって、動けるようになったら…浸水の恐れのある地域の人は高台や鉄筋コンクリート3階以上の高い所へ

すぐに
逃げましょう！



津波のことを
もっと知るには



3 避難したら！

地震がおさまっても、安心できません。その後も、余震が起こったり、電気・水道・ガスなどが止まったり…不自由な生活が続きます。

地域の人みんなで協力して、地震に備えましょう！

体験

津波を大スクリーンで！

津波・高潮ステーション

検索

大阪市西区江之子島2-1-64 [TEL] 06-6541-7799

震度7を体験！

大阪市立阿倍野防災センター

検索

大阪市阿倍野区阿倍野筋3-13-23 [TEL] 06-6643-1031

訓練

9月5日(水)
11時実施！

大阪880万人訓練

携帯電話の訓練緊急速報が一斉に鳴ります！

- 一人ひとりが身を守る行動や避難行動にチャレンジ
- 防災・減災を考えるきっかけに

大阪880万人訓練

検索

役立つ情報

④ おおさが防災情報メールに登録

津波・地震・大雨などの警報・注意報や避難勧告などを配信
右の二次元コードを読み込むか、
tourcku@osaka-bousei.netに空メール



パソコン・携帯電話から

おおさが防災ネット

検索

おおさが減災プロジェクト

検索

道でも減災に役立つ情報を地図上に投稿し、閲覧できるウェブサイト

地震メール 鳴ったの2割？

大阪880万人訓練

南海トラフ巨大地震を想定し、大阪府内全域で5日に行われた「大阪880万人訓練」で、府内にいた人の携帯電話やスマートフォンに一斉送信された訓練用メールが一部の機種で届かず、府などに問い合わせが相次いだ。対応機種が限られていることが原因だが、名前が似た別のメールサービスと混同し、受信できずと誤解していた利用者もいたとみられ、有事情報発信の課題が浮き彫りになった。

「電波が届くところには届かない。危機管理はこうなっているんだ。府や各自治体の担当部署にはこうした電話が相次いだ。」

府は訓練時、大阪府人口の4割に相当する350万台が府内に存在、通知できると見込んだ。実際に何割の携帯電話が鳴ったかは確認できないが、問い合わせが相次いだことを受け、府の担当者は「全府民の4割も鳴らず、2割程度だったのかもしれない」と肩を落とした。

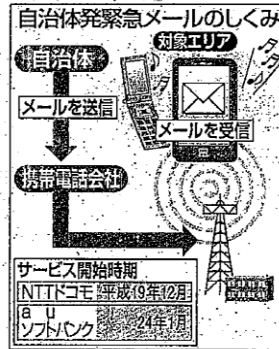
今回訓練に使われた緊急メールサービスは、自治体が発信する緊急地震速報が「訓練緊急地震速報」と

機種限定／サービス混同

自治体が発信する緊急メールの仕組み。自治体が発信する緊急メールは、携帯電話会社を通じて送信される。サービス開始時期は、NTTドコモが平成19年12月、auが平成20年1月、ソフトバンクが平成20年2月である。

各社とも地震速報メールの方がサービス開始時期が早い。緊急地震速報は受信できるが、自治体発メールには非対応の機種もある。府危機管理室は「地震速報に対応しているから、自治体発のメールも受信できる」と勘違いした人がいたのではないかと分析する。

松井一郎知事は5日の記者会見で「実際に災害が起きたときに届かないということがないよう、改善すべきは改善する」と課題を口にした。



るもの。今回大阪府が利用したサービスは、自治体と携帯電話会社が個別に契約し、独自のメッセージを作り、送る仕組みで、緊急地震速報とは別物だ。

南海トラフ想定 一斉メール

大阪府などは5日午前11時、南海トラフ巨大地震が発生したと想定し、携帯電話にメールを一斉に送る訓練を初めて実施する。対応機種を持ち、この時間に府内にいる人全員が対象。約350万人に上る見込みで、同様の訓練では国内最大規模という。電源が入っていればマナーモードでも最大音量で受信音が鳴るため、葬祭場など配慮が必要な場所や車を運転する人に府が注意を呼び掛けている。

あす午前11時
大阪府内350万人に

9月1日の防災の日が土曜日のため、多くの人に参加してもらおうと平日の5日を選んだ。気象庁の緊急地震速報と同様の仕組みを活用し、携帯電話会社3社を通じて「実際に地震が起こったときのことを考えてみてください」とのメッセージを一斉送信する。受信時はピロリロンというチャイム音が、最長10秒間鳴るという。突然の大きな音で混乱が生じる恐れもあるため、府の要請で駅や

地下街などでは直前に実施のアナウンスが流れ、冠婚葬祭会葬や映画館などはボスターなどで携帯電話の電源を切るよう呼び掛けている。
東日本大震災後、同様の訓練が全国で広まっており、府の担当者は「避難方法や地震への備えを身近な人と考えるきっかけにしてほしい」と話している。当日は一部の市町村で、メール送信と同時に防災無線でも同内容を通知。一部の学校などでは受信後の避難訓練も予定している。

【富山哲郎】

「地震」メール届かない

一斉訓練 大阪府に苦情400件

南海トラフ巨大地震を想定し、大阪府が避難を呼びかける訓練メールを府民に「一斉送信した5日の「大阪8800万人訓練」で「メールが届かない」などの苦情が府に約400件寄せられたことがわかった。府のホームページ（HP）が午前8時頃から午後5時頃までつながりにくくなっており、府は訓練の内容などを知ろうとHPにアクセスが殺到したのが原因とみている。府によると、訓練メール

は午前11時、携帯電話会社の災害情報サービスを利用して約350万人に送信。直後から「メールを送ったのに届かない」という苦情電話が相次いだ。サービスの対応機種でないことが主な理由だという。

訓練を終え、府危機管理室の担当者は「自分の携帯にメールが届かないことを知り、避難について考える機会にしろえれば」とする一方、松井一郎知事は

定例記者会見で、「周知がと述べた。府の「防災情報十分でなかった。震災時にメールでも災害情報を提供してあり、府民にメールアドレスの登録を呼びかけていく方針。」

9/6 朝刊

大阪府

「メール届かない」80件 大阪府内訓練

大阪府が5日に携帯電話の一斉メールで地震への備えを呼びかけた「大阪8800万人訓練」で、府に「メールが届かなかった」との問い合わせが夕方までに約80件寄せられた。
大半は携帯電話各社の緊急通報サービスに対応していない機種だったためとみられるが、未受信の原因がわからないケースもあり、府は今後、各社と連携して調査する。松井一郎知事は同日の記者会見で「災害が起きた時に情報が届かないことがないように、改善していく」と述べた。
一方、同日午前9時ごろから夕方にかけて、府のホームページにアクセスが集中し、閲覧しにくくなった。府は「訓練について知りたいたちが多くアクセスしたようだ」とみている。
（京谷泰嗣子）

南海トラフ「考えて行動を」

「地震」メール一斉訓練



小学生の手引きで、校舎3階避難する児童たち（5年、朝日15分、大阪中正区の市立小林小）＝朝日新聞撮影

南海トラフ巨大地震を想定して、大阪府は5日午前11時、全府民を対象にした「大阪880万人訓練」（実行委主催）の一環で、エリアメールなどを活用して府内の携帯電話利用者約350万人に避難訓練を呼びかけるメールを送った。同様の訓練では国内最大。学校で、職場で、駅で、携帯電話が一斉に鳴り響いた。入真際に地震が起こったときのことを考えてみてほしい。

小学生、園児の手引き 避難

午前11時、海部郡にある大阪府中正区の私立小林小で、保護者、訓練メールを携帯した職員が非常ベルを鳴らした。保護者らは約5分間、約100人の園児を園庭に集め、乳母車や徒歩で南約1000の市立小林小へ4人1組で避難。同小校門では待機していた6年児童らが出迎えた。児童らは足元を気にして、手を握りながら、園児と手を握りながら、校舎内の階段を上り、3階まで逃げた。小学生らが保護者園児を避難誘導する訓練で、東日本大震災で岩手県釜石市の釜石東中の生徒が、隣接する郷土館小の児童を誘導しながら、いち早く避難した釜石の奇跡になった。村井保夫校長は「今後も連携を深めて、いざというときに備えたい」と話した。堺市東区の市立登美丘中では、職員室で教師らの携帯電話が一斉に鳴った。地震が発生したというの校舎内放送が流れ、教室で授業を受けていた生徒は机の下に身を隠す。保護者らは机の下に身を隠す。保護者らは机の下に身を隠す。保護者らは机の下に身を隠す。

大阪府、350万人に送信

「届かない」苦情相次ぐ。突然の訓練メールに、街中で人々はどう反応したか。大阪ミナミの戎橋。メールが送信された後、足元を止める人はほとんどなく、数人が不思議そうに携帯電話を眺めていた。静岡県から旅行中の大学4年生河合恵里さん(22)は「メールに気付いたが音が小さすぎる。もっと危機感がもてるようにしたい」と話した。同僚と待ち合わせをしていた大阪府中央区の会社員桑井晴菜さん(23)は「メールが届かなかった。人命がかかっているのに」と話した。事実は訓練を重ねるうちに、命を守るのが体に覚えこませてほしいと語った。同市堺区の市役所本館1階にある市議会議場は本会議の閉会中。メールの着信音が響いた後、「訓練。大地震です」と放送が流れた。竹山修身市長や議員らが頭を下げながら机の下に入り、傍聴席の市民5人も職員室の案内で避難した。なかの「と語った。大阪府北区、JR大阪駅ではメールが届いた瞬間、乗客らが驚いた様子で、携帯電話の画面をのぞき込んでいた。大阪府泉南市の主婦(33)は「いざというときにどこに逃げたらいいのかわからない」と話した。メールを送信した大阪府危機管理室は、訓練開始直後から「メールが届かないのはなぜか」との苦情が30件相次いだ。同室によると、携帯電話の事業者や機種によっては、災害時の避難訓練メールを受信できないケースがあるという。受信できるのは、NTTドコモが約4年前以降、au(KDDI)が約2年前以降、ソフトバンクモバイルは約1年前以降の版権機種に限られる。NTTドコモによると、対応機種でも、通信・受信中の場合などに受信できないことがあるという。

H24.9.5 読売(7)

避難の主役は中学生

た。10校には「津波」
報が発表されました」と
緊急の内部放送。近くの
幼稚園の園児約160人
と福祉館の高齢者約10
人が階に集まり、生徒
らが校舎4階へ誘導さ
れた。

佐之区の想定津波高
は最大5.5メートルと2階
までの範囲、福祉会館
中の地震では、高校生や
が多い。地元の学生が
幼小い子やお年寄りを助
ける必要があると合同
訓練の狙いを説明する。

●防災センター 大阪
府の松井一朗知事は同日
午前、大阪市立岡野野
区センター（同市住野野
区）を視察。3階の地震
災害体験ゾーンで、19
95年に起きた地下型で
設定された模様と、自分
で設定する必要がある機
理がある。対応機軸や利
用方法、配信契約してい
る自治体などの情報は、
各携帯電話会社のホーム
ページに掲載されている
内容を確認するしかな
ない。



津波を想定した訓練で、中学生の誘導で校舎へ避難する幼稚園児（5日午前、大阪市住之江区の南港南中学校）

携帯速報、推定350万台に
機種対応も非対応も

非対称機構

緊急通報メールは、気
象庁が発信する緊急地震
速報・津波警報などのほ
か、自治体が発した避難
勧告や警報なども、一連
の緊急メールに包含・送
信される。また、iPhone
やスマートフォン（高
機能携帯電話）にスマポ
ンと契約している緊
急通報メールの配信サ
ービスを利用した。府
民の携帯電話を夜間
15時の流通人口が多い
モバロ、NTTドコ
モ、KDDI、ソフトバ
ンと契約している緊
急通報メールの配信サ
ービスを利用した。府
民の携帯電話を夜間
15時の流通人口が多い
モバロ、NTTドコ
モ、KDDI、ソフトバ
ンと契約している緊
急通報メールの配信サ
ービスを利用した。府

台と仮定。今回の通報が届いたのはその約割にあたる約350万台と推定している。

難情報を特定の地域内の携帯電話に送信する無料サービス、KDDとソフトバンクによると、い

あるほか、契約をしていない自国にもある。受け取れる機種でもあらかじめ受信できないよう

突然メーブル、驚く出張客。新大阪駅

「JR新大阪駅の新幹線ホームでは乗降客らが、ビシネス客らはシャツのポケットから携帯電話を、海トラフ地域の津波は、約1.5メートルの距離で、東海地方でも同様の

海溝型巨大地震では大きな揺れの数秒から数秒の間に大規模な揺れが連続して発生することが可能。これに阪神大震災のことがよくよく露骨に示されている。このように、大規模な揺れの直下型地震には大きな揺れが早く来るため避難は難しいとされる。

映し出す波紋面を首をかしげながら見つめた三重 出征で大阪にいらした三重 県鈴鹿市の男性会社員 首が落ちると、渾身の力をこめて、大規模の予知地震を知らなかったで驚いた館にもあった。

大阪880万訓練

備える心 一斉送信

大阪府民に巨大地震への備えを呼びかける「大阪880万人訓練」が5日、初めて実施された。午前11時、「実際に地震が起こったときのことを考えてみてください」とのメールが府内の携帯電話350万台に一斉送信された。大阪府北区、箭野健太撮影

▼8面に記事



11時、350万台にメール

「880万人訓練」音に戸惑う人も

南海トラフ沿いの大地震を想定した初の「大阪880万人訓練」が5日実施された。携帯電話各社の緊急通報サービスに対応した推定350万台の携帯電話に、身を守る行動を呼びかけるメールが一斉送信された。大阪府内の各地でも同時に防災訓練があった。

▼1面参照

東日本大震災を踏まえ、府や民間企業などがつくる実行委員会が企画した。2008年に米国で始まった「シェイクアウト訓練」と呼ばれる、同時刻に参加者が一斉に行動する訓練。参加者の防災意識を高める効果があると考えられる。府は午前11時にメールを配信した。堺市役所で開会

中の市議会でも着信音が一斉に鳴った。メールを見て「どないしたろえんや」と戸惑う議員も。議員や市幹部ら約90人は机の下に潜り、安全な姿勢を取った。

一方、府には屋までに「メールが届かない」との声が約20件寄せられ、今後原因を調べる。

同市東区の市立登美丘中では午前11時に地震発生を伝える放送が流れ、約740人の生徒たちが机の下に潜った。この後1年生の生徒たちは体育館に避難。体育館に避難所を設ける訓練もあり、地元住民らが段ボールで床を区切って避難者のスペースを確保したり、受付を設置したりした。

H24.9.5 朝日(夕)

あす「大阪880万人訓練」



「大阪880万人訓練」で一斉配信されるメールのイメージ。マナーモードでも着信音が鳴るため注意が必要だ

南海トラフ巨大地震の発生を想定した初の大規模訓練「大阪880万人訓練」が防災週間中の5日、大阪府内全域で行われる。午前11時、府内にいる人の携帯電話に訓練用の「緊急地震速報」メールを一斉配信し、「被災時にどう行動すべきか」を考えてもらうのが狙い。また、マナーモードにしても着信音が鳴るため、府などは状況によっては携帯電話の電源を切るよう注意を呼びかけている。

■事前登録必要なし
訓練は大阪府市や堺市などが主催。メール以外にも防災行政無線が流され、堺市内の中学校では避難所開設訓練も実施される。
メールが配信されるのは、訓練時に大阪府内に存在すると想定される携帯電話で、府は約350万台と想定。事前登録は必要なく、NTTドコモ、au、ソフトバンクの対応機種に「訓練、訓練、大阪

350万台メール一斉受信 運転中・映画館……注意を



府で大阪880万人訓練を開始します。実際に地震が起こったときのことを考えてみて下さい」という文面のメールが届く。

概要としては携帯電話が一斉送信されるという訓練だが、府危機管理室は「メールをきっかけに家族の状況を確認しあったり、避難経路の確認、実際に机の下に潜り込むなど各自で行動をしてほしい」としている。

■強制的に「着信音」

メールは、府が各携帯電話会社との間で利用契約している災害・避難情報の緊急速報システムを活用するため、携帯電話をマナーモードにしても強制的に着信音が鳴る。鳴ってはいけない場所にいる場合は、あらかじめ電源を切っておくことが必要だ。府内の映画館では、映画の

上映前に観客らに注意を呼びかける予定で、一部はすでにホームページ（HP）で注意を喚起。阪大病院でもメール配信15分前に館内放送を行う方針で、「高齢の患者さんがびっくりしないように」と、訓練を周知するポスターも掲示している。

一方、大阪地裁では特に対応はとっておらず、当日の法廷での扱いについては「各裁判官の裁量にまかされている」（同地裁総務部）状態という。

■隣接府県で鳴動も

府が利用するシステムでは、隣接する他府県でも携帯電話が一部鳴動する可能性がある。府は周辺自治体にもメールが配信される可能性があることを連絡。奈良県や生駒市などは、HPで注意を促している。

また、車で府内を移動中の携帯電話に配信されることも想定される。府では事故防止のため、運転中に携帯電話の着信音が鳴った場合は急ブレーキをかけたりせず、携帯電話の操作をしないよう呼びかけている。

JR西日本は車内や駅構内で放送を流し、利用客に訓練メール配信について通知する予定だ。

ボンベ爆発2人死傷

宮城 解体中

4日前午前9時20分ごろ、宮城県大崎市岩出山重蔵の「マルビシ高庄」で、空のガスボンベの解体作業中に爆発があった。宮城県警鳴子署や地元消防によると、40代の男性社員が即死、30代の男性社員がけがをして大崎市内の病院に搬送された。けがをした社員は、意識はあるが歩行できない状態という。

鳴子署などによると、爆発したガスボンベは1個で直径50センチ、高さ80センチ。事故当時は40代社員が切断作業を行い、30代社員は近くで別の解体作業をしていた。ボンベを廃棄処分するため、機械を使って切断中だったとみられ、同署が事故原因を調べている。事故当時、十数人が同社敷地内で作業をしていたが、ほかにけが人はいなかった。

遺体は父

女児監禁容疑

小学1年の女児（7）を自宅に監禁したとして、監禁



第1回緊急災害対策本部会議であいさつする野田首相(1日午前、首相官邸)

東日本大震災の被害と主な巨大地震の被害想定

	東日本大震災 (M9.0)	首都直下地震 (M7.3)	南海トラフ 地震 (M9.1)
死者・行方不明	1万8716人 (8月29日時点)	9600人	32万3000人
全壊・全焼 家屋	約12万9000棟	30万棟	238万6000棟
帰宅困難者	約515万人	516万人	秋に発表

(注)首都直下地震は東京都が推計、被害は都内のみ。
南海トラフ地震は内閣府の有識者検討会が推計、
最悪のケース

全国38万人参加

巨大地震やそれに伴う津波はソフト・ハード両面の対策を進めれば、被害を大きく減らすことが

「防災の日」の1日、政府や自治体による防災訓練が全国各地で実施された。内閣府によると、参加人数は40都道府県の約38万7千人。政府は首都直下地震を想定した総合防災訓練で、首都中枢機能の確保を目指した実践的な作業を進めた。四国や九州などでは死者が最大で32万3千人に達するとされる南海トラフ地震を想定した広域医療搬送訓練があった。(関連記事を社会面に)

減災へ広域・実践訓練

防災の日 南海トラフも想定

大阪、5日に「880万人訓練」

地震速報、携帯などに送信

大阪府は5日に「大阪880万人訓練」を実施する。実際に携帯電話などを通じて緊急地震速報を鳴らし、府内にいる全員に訓練参加を呼びかける。
東海、東南海、南海地震を想定。東日本大震災の教訓を踏まえ、倒れてくる家具から身を守ったり、津波が届かない場所に避難したりする「自助行動」を確認してもらう。
緊急地震速報が鳴るのは5日午前11時。地震速報を受信できる携帯電話はマナーモードにしても警報音が鳴るため、府は支庁がある場合は事前に携帯電話の「をオフにするよう呼びかけている」。

場合、最大死者は5分の1に抑えられるとされる。東日本大震災からまもなく1年半。その記憶を一人ひとりが心に刻み、減災に向けた取り組みを進める必要がある。

日本経済新聞

夕刊
9月1日
(土曜日)

発行所 日本経済新聞社
東京本社 03-3270-7100
大阪本社 06-6945-0521
名古屋支社 052-244-0924
西部支社 092-477-1111
http://www.nikkei.co.jp
購読のお申し込み
0120-21-4545
http://www.nikkei4946

仲間が広がる、心がほぐれる
すずすず
クラブツーリスト

仲間
自
助
訓練

30日から始まった「防災週間」の最終日の9月5日、大阪府が府内で利用されている携帯電話を対象に避難訓練メールを送信する。「いざという時にどう避難するか」などの防災意識を高めるのが狙い。期間中、全国で同様の大規模訓練が行われるが、大阪の場合は最大規模の約350万人がかかわると見込まれる。

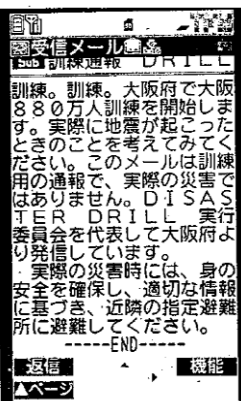
府によると、NTTドコモ、au(KDDI)、ソフトバンクモバイルの3社との間で、利用者に災害時に避難情報を一斉に送信してもらう契約を締結。訓練では、5日午前11時、「実際の災害時には、身の安全を確保し、指定避難所に避難してください」との内容のメールが送られる。府内で使用中で、避難情報が受信できる携帯電話に限られ、府消防防災課の担当者は「どう行動するか、想像力を高め、訓練に臨んでほしい」と話す。

ただ、マナーモードでも音が鳴るため、葬儀場や病

きょうから防災週間

大阪 350万人に訓練メール

5日、携帯に送信 府「避難、想像力高めて」



携帯電話に送信されるメール（画像は一部修整しています）

院などにいる場合、事前に電源を切る必要がある。同様の大規模訓練は2008年に米国の防災関係者が発表。参加者が予定時刻に「低い姿勢を取る」「頭や体を守る」などをイメージし、実際に行動することが災害時に役立つとされる。

甚大被害想定で自治体対策

南海トラフ地震 市民「避難ビルどこ」

南海トラフ巨大地震の被害想定を発表を受け、太平洋沿岸などの各自治体では30日、早速、担当者が検討会議を開くなど対応に着手した。一方で住民からは「対策は間に合うのか」「どうすれば身を守れるのか」という声も自治体に寄せられている。

死者数が最大4万9000人とされる高知県は午前9時から、南海地震対策推進

こうした訓練は東日本大震災を機に各地に普及。北海道では30日に10万人が参加し、9月にも千葉市や埼玉県などで行われる。

今年3月、2万5000人が参加した東京都千代田区の訓練では、参加者から

るいい機会になった」などの感想が相次いだ。

広井悠・名古屋大准教授（都市防災学）の話「マニュアル通りの訓練に比べ、災害直後、各自がどのような行動を考え、どうして命を守ることに直結する。これも参加できるので、今後も同様の訓練は増えるのではない」

学べた」「棚などの転倒防止や建物の耐震性を確認する

進本部会議を開催。担当者が映像を使って今回の被害想定を説明し、出席した尾崎正直知事は「早期避難の徹底で大幅に被害軽減できるとの希望だ。とにかく逃げることが唯一の希望だ。と訴えていかなければならぬ」と呼びかけた。

全国で最も早く津波が到達するという和歌山県串本町では31日午後、防災対策